

第 9 回精神保健福祉士 専門科目（やまだ塾）

国家試験 問題・解説

＝⑤精神保健福祉援助技術＝（問題 51～問題 68）

（2007 年 2 月 17 日ホームページ掲載）

【精神保健福祉援助技術】

問題 51 エンパワメント・アプローチに関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A. クライアント自身が本来持っている力を取り戻すこと、そのための社会的な障壁を取り除くことの両面に焦点が当てられる。
- B. 国際ソーシャルワーカー連盟による「ソーシャルワークの定義」（2000年）にも考え方が取り入れられている。
- C. 心理社会的アプローチと同義語である。
- D. 援助過程は、インテークに始まり、問題の査定、ケアプランの提示、介入の順に進められる。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	×	○
4	×	×	○	○
5	×	×	×	○

問題 52 集団援助を行う精神保健福祉士に対して、スーパーバイザーが行ったスーパービジョンに関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A. 精神科診療所において統合失調症の家族に対する心理教育の開催を準備している精神保健福祉士と、CAGE（ケージ）法について話合った。
- B. 福祉ホームにおいて入所者同士の対立が続き、その対立がメンバー全体に波及したため、職員研修でロールプレイを行い、集団力動を体験させた。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2007 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

C. 保健所において利用者からセルフヘルプグループ(SHG)を立ち上げたいと相談を受けた精神保健福祉士と、SHGの形成過程と支援の関係について話し合った。

D. 長期利用者が多数通所し続けているデイ・ケアにおいて、デイ・ケアから地域での自立した生活に移行できない原因を明らかにするため、プログラムのあり方と援助方法を検討させた。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	×	○
3	×	○	○	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

問題 53 精神保健福祉援助活動の基本に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A. 利用者が持つ生活の心配ごとを理解する。
- B. 精神症状が再燃した場合には、家族の同意により入院させる。
- C. サービスを利用することで、自らの生活をコントロールする力をつける。
- D. 面接場面では、ダブルバインドを用いる。

(組み合わせ)

1	A B
2	A C
3	B C
4	B D
5	C D

問題 54 障害福祉計画の策定に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A. 行政の精神保健福祉士が企画・立案・実施・評価する障害福祉計画を採用する。
- B. 精神障害者や住民及び専門職をメンバーとした計画策定の委員会を立ち上げる。
- C. モニタリングを活用して、循環的に計画を策定していく。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2007 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

D. 地域住民の個人情報を調査で明らかにし、その情報を開示して参画を促しながら計画を策定していく。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 55 精神障害者の就労支援に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A. 職場適応面において、精神的なタフさに課題があることもあり、事業主に配慮が必要なことを助言する。
- B. 疲れやすい、ペース配分が苦手という障害への配慮から、短時間労働も可能となるよう事業主に助言する。
- C. 公共職業安定所の紹介による精神障害者の就職件数(平成13年度～17年度)が伸びており、積極的に同所障害者窓口を活用する。
- D. ジョブコーチは、利用者のワークパーソナリティに焦点を当てず、ティーチ(TEACCH)プログラムを活用する。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | × | × |
| 3 | × | ○ | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 56 次の事例を読んで、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

(事 例)

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2007 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

Fさん(女性, 35歳)は統合失調症で20歳の時に初めて1年間入院し, 退院後服薬中断で2~3か月間の入院を3回経験している。今回5回目の入院後1年間経過している。病状も安定し, 主治医から翌月に退院となる話が出て, 退院後の生活に向けてFさんから担当のG精神保健福祉士に相談があった。Fさんは生来性の心臓疾患をもっており, 身体障害者手帳4級を所持している。Fさんは「もう一度人生をやり直したい。再度勉強して学校に入り, 美容師になりたい。しかし, 父親は賛成してくれているが, 母親は反対しているんです。どうしたらよいかしら」と訴えた。そこでG精神保健福祉士は退院前援助を開始した。

- A. 病院内に, 働くことを希望する患者を対象とした「就労チャレンジグループ」の立ち上げを企画し, 院内会議に提案する。
- B. 病棟で医師を含めた多職種でのカンファレンスを開き, 学校に行くべきかどうかを決定する。
- C. Fさんとともに知り合いの美容店に外出し, 店長から, 仕事内容, 必要な資格, 収入, この仕事の将来性などを教えてもらう。
- D. Fさんとともに家庭に退院前訪問し, 両親の意向を聞く。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	○
3	○	×	○	×
4	○	×	×	×
5	×	○	×	○

問題 57 次の記述のうち, 適切なものに○, 適切でないものに×をつけた場合, その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A. 精神保健福祉士がコンサルテーションを行う場合は, スーパービジョン同様, クライアントに対して責任を負う。
- B. 精神保健福祉士同士が行うピア・スーパービジョンには, 当事者を参加させる。
- C. カウンターレジスタンス(感情的な逆抵抗)を起こしている精神保健福祉士に, 精神科医がコンサルテーションを行う。
- D. 精神保健福祉士によるコンサルテーションは, 地域の企業や学校でも活用される。

(組み合わせ)

A B C D

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2007 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

- 1 ○ ○ × ×
 2 ○ × ○ ○
 3 ○ × ○ ×
 4 × ○ × ○
 5 × × × ○

問題 58 精神障害者の地域生活支援の在り方に関する次の文章の空欄A, B, Cに該当する語句の組み合わせとして、正しいものを一つ選びなさい。

地域性や(A)の高い事例, 危機介入的な事例等についても効率的に調整機能が発揮され, 自立に必要な就労, 教育面も含めた障害者の地域生活を包括的に支援する重層的な相談支援体制を制度上確立することが必要である。

個々の具体的な相談支援については, 障害者の主体的な自立に向けた取り組みを支援し, 障害者を(B)していくという観点から, (C)等により障害者の状態や支援の必要性に応じて, 各社会資源を効果的に活用したサービスが総合的に提供されることが必要である。(厚生労働省「精神障害者の地域生活支援の在り方に関する検討会 最終まとめ」平成16年8月)

- | A | B | C |
|----------------|------------|---|
| 1 困難性……サポート…… | 障害者自立支援法 | |
| 2 専門性……エンパワー…… | ケアマネジメント | |
| 3 緊急性……エンパワー…… | ケアマネジメント | |
| 4 専門性……サポート…… | 退院促進利用支援事業 | |
| 5 困難性……エンパワー…… | 障害者自立支援法 | |

問題 59 精神保健福祉士が用いるグループワークに関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A. 精神科デイ・ケアに参加するメンバーの情報を収集し、波長合わせをする。
 B. 福祉ホームのミーティングにおいて、各メンバーが発言する機会を多くし、ニーズや気持ちの表現を促す。
 C. 精神科病棟単位のグループで、メンバー同士の関係を深めるために、メンバーの座る席を固定する。
 D. 地域活動支援センターの外出活動グループで、仲間との自主的な外出活動が多くなってきたので、プログラムの終結をメンバーに提案する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	×
4	×	○	×	×
5	×	×	○	○

問題 60 チームアプローチと精神保健福祉士の役割に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A. 主治医がいない場合であっても、医師その他の医療関係者との連携を保たなくてはならない。
- B. チームアプローチで重要な点は、個々の専門性を排し、共通の目的と理念で効果的な援助を行うことである。
- C. チームで決定したことについては全員が責任を持ち、個々の援助についての相互批判は避ける。
- D. 地域における精神保健福祉士は、サービス利用者を生活者としてとらえる視点から、それを具体化して他のチームスタッフに提示する役割を持つ。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 C D

問題 61 精神保健福祉援助における自己決定に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A. 精神保健福祉士は、利用者が自己決定するために社会資源の情報を提供する。
- B. 利用者の支援にかかわる原則であり、実践的、倫理的な基盤である。
- C. 精神保健福祉士の介入を前提に利用者に選択を求めるものである。
- D. 自己決定には、自己責任が伴うものであり、責任能力のあることが条件となる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	○	×
3	○	×	×	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問題 62 精神障害者のリカバリーを促す精神保健福祉士のかかわりに関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A. 病理としてではなく、一個人として見る。
- B. 治療内容や、それに伴うリスクと有益さを十分に説明する。
- C. 良い特質や才能に気づき、それに焦点を当てる。
- D. 何かを決定する際に、精神障害者を信頼できるパートナーとする。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	○
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

問題 63 セルフヘルプグループに関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A. セルフヘルプグループの種類には、人生における危機や変化に対処する人々のグループがある。
- B. プロシューマーとは、プロダクトとコンシューマーの合成語であり、自らの体験を消費者運動に活かした当事者のことである。
- C. 「アルコールリクス・アノニマス(AA)」には、パワーレスの認知から始まる12のステップという回復への指針がある。
- D. グループに参加し、他者を援助することによって援助者自身が利益を得るという効果を「ピアセラピーの原則」という。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	×
3	○	×	×	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問題 64 ストレングスモデルに基づいたケアマネジメントに関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A. 仲介モデルと同様に、間接的援助を重視する。
- B. アセスメントでは、個人の資質、才能、経験知、障害を乗り越えてきたサバイバーとしてのプライドに着目する。
- C. クライアントの掲げる長期目標が非現実的なものであっても、ケアマネジャーは拒否せず、クライアントが心から望むものとして目標に掲げる。
- D. 社会資源の活用では、ソーシャルサポートよりもフォーマルなサービスとの結び付きを大切にする。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	×	○	○
2	○	×	×	×
3	×	○	○	○
4	×	○	○	×
5	×	○	×	×

問題 65 精神保健福祉士が行うグループワークに関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A. 精神科デイ・ケアのグループワークでは、ストレス対処技能の獲得に対して支援することが重要である。
- B. SST(社会生活技能訓練)では、援助者の考えに左右されない自由なプログラムの中で、グループ体験を通じて個人が社会の中での機能を高める。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2007 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

C. 家族教室では、参加している者同士が支え合い、気持ちが楽になる場としての雰囲気作りを目指す。

D. 断酒会の例会では、ファシリテーターとして参加者の意見を引き出す。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	○	○
3	○	×	○	×
4	○	×	×	×
5	×	○	×	○

問題 66 次の事例を読んで、講座の受講者として最も適切な対象者を一つ選びなさい。

(事 例)

H市には同法人の精神障害者小規模作業所が2つあるが、他に精神保健福祉関係施設はない。作業所の活動としてバザーや夏祭りを企画しても当事者・家族、関係者のみの参加で、他の住民の参加がほとんどなかった。これでは、地域を拠点にした活動にならないと作業所のG精神保健福祉士は考え、いずれ作業所と地域住民を繋ぐ役割としての精神保健福祉ボランティアの育成を求めた。G精神保健福祉士は、保健所、H市障害福祉課、H市社会福祉協議会の協力を得て、ボランティア講座を開催することを提案し、企画運営の責任者となり、講座の企画書を作成し、この地域におけるボランティア講座の受講を呼びかけた。

- 1 当事者や家族
- 2 講座終了後、作業所利用者への個別の支援ができる人
- 3 講座終了後、様々な作業所活動への協力ができる人
- 4 疾病や障害についての専門的知識を身に付けたい人
- 5 地域の民生委員や町内会の役員

問題 67 障害福祉計画の評価方法に関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

1. インシデント・プロセス法
2. BSC(バランス・スコアカード)
3. プロセス・ゴール

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2007 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

4. タスク・ゴール

5. リレーションシップ・ゴール

問題 68 精神障害者家族会への支援に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A. 活発に活動している家族会を探して、その家族会との交流を提案する。
- B. 家族会の会員が共通認識を作れるような、家族会による家族のニーズ調査を実施することを提案する。
- C. 家族会に加わり、家族会の活性化と一緒に取り組む。
- D. 家族会会員と家族会に関係する諸機関の専門職が、家族会の活性化について話し合う会議の開催を提案する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	×
4	×	○	×	×
5	×	×	○	○